

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 1年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5時間)

担当教員 : 山田繁伸 (1E) 竹内乃里子 (1M, 1S, 1C)

授業の概要			
本授業は、高等学校用の検定教科書を使用する。国語を的確に理解し、適切に表現できる国語力の育成を目指す。また、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う力を育成することと、日本の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視した授業としたい。なお、4単位用の教科書であるので、1,2年通して、教科書をやりあげる予定である。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1)	
(1) 語句の意味・用法、漢字の読み書き等に習熟し、国語の表現力・理解力を身につける。(定期試験と課題)			
(2) 読む・書く・聞く・話すことの4活動を通して、伝え合う力を高める。(定期試験と課題)			
(3) 優れた文学作品を読むことによって、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。(定期試験と課題)			
(4) 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	随想「ルリボシカミキリの青」1	○随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ○毎日の生活において本当に大切なものは何か、考える。 ○古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。 ○説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。	【理解の度合い】
2	随想「ルリボシカミキリの青」2		
3	随筆「隣の校庭」1		
4	随筆「隣の校庭」2		
5	古文入門1		
6	古文入門2		
7	古文入門3		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○表現の特色に注意しながら小説を読み、小説に親しむ。 ○登場人物のおかれた境遇に注意しながら、その心情を読み取る。 ○漢文の特色を知り、きまりを理解する。 ○格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。	【理解の度合い】
10	小説「とんかつ」1		
11	小説「とんかつ」2		
12	小説「果物屋のたつ子さん」		
13	漢文入門1		
14	漢文入門2		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16	前期期末試験の解答と解説		
17	評論「未来をつくる想像力」	○評論を読んでその内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取る。 ○現在の社会におけるさまざまな問題点について考える。 ○古文の表現に慣れ、文章の内容を読み取る。 ○作者のものの見方や感じ方について考える。	【理解の度合い】
18	評論「手技に学ぶ」		
19	詩1		
20	詩2		
21	古文・随筆「徒然草」1		
22	古文・随筆「徒然草」2		
23	古文・随筆「枕草子」		
24	後期中間試験		【試験の点数】 点
25	後期中間試験の解答と解説	○小説に描かれている登場人物の心情や情景などを読み味わう。 ○場面の展開に即して、登場人物の心情の変化について考える。 ○漢詩を繰り返して音読し、優れた表現に親しむ。 ○漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。	【理解の度合い】
26	小説「羅生門」1		
27	小説「羅生門」2		
28	小説「ほおずきの花束」		
29	漢文・漢詩1		
30	漢文・漢詩2		
31	漢文・漢詩3		
32	後期期末試験		【試験の点数】 点
33	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		課題プリント等の提出物は指示に従い、必ず提出すること。	【総合達成度】
教科書		三角洋一他、「新編国語総合」、東京書籍	
参考図書		「カラーワイド 新国語要覧 増補第四版」、大修館書店	
自学上の注意		授業で配布したプリントは、ファイルに綴じておくこと。	
関連科目		現代文、地域日本文学、日本語表現法	
総合評価		達成目標の(1)～(4)について、4回の定期試験と課題で評価する。 総合評価=0.8×(4回の定期試験の平均点)+0.2(課題点)。総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。	